



新学期がスタート

今年も「元気に登校、笑顔で下校」を



新学期初日の登校風景は、いつもすがすがしさを感じます。緊張の中にも期待に胸膨らませながらもご両親と手を握りながら登校してきた園児たち、久しぶりに友達と出会えるうれしさからか喜び溢れた表情を見せる子どもたち、この日の朝も校舎の前に立ちながら、様々な表情の子どもを見つけて、私の心も和んできました。

入学式で、在校生と対面し、名前を呼ばれてしっかりと返事が出来た園児・小1・中1の新入生50名に私は、厚紙でかたちどった大きな「手」の造形物を示し、5本の指になぞらえて園児には①(親指)ひとりです②(小指)なかよくする。その上で 新小1生に補習校では③(人差し指)すすんでべんきょうをする④(薬指)しっかりとあそぶと呼びかけ、最後に新中1生には、⑤(中指)補習校と現地校の両立の心構えの大切さを話しました。新入生への私のメッセージが届いたでしょうか。これからの補習校生活が楽しみです。

入学式の中で、生徒会を代表して会長の藤本玲奈さんから、新入生に対するお祝いの言葉とともに今回の大震災の被災者への募金活動が呼びかけられました。また、新入生を代表して挨拶をした中1の伊東蓮さんも、大震災で被災した生徒たちに思いを馳せて、「震災で住む家も勉強する机もない生徒たちが、助け合いながら一生懸命がんばっていることを考えるとなまけたことはいえませんが」と現地校と補習校の両立は大変で「もうイヤ」という気持ちになってしまったことを受けて、『勉強をがんばりたい』との決意をしっかりと守りたい」と結びました。二人の熱い思いが、ひしひしと伝わってきた入学式のスピーチとなりました。

始業式の後には、恒例の学級開き。先生が話をしている「補習校での約束」を聞きながら、クラスペアレントさん達によって配られた新しい教科書を興味深くそっと覗き込んでいる子どもたち。早速、学習が始まりました。今年もより一段と大きな成長を目指してがんばってほしいです。子どもたちの活躍を期待したいと思います。この日放課後に行われました学級懇談会において、各担任より今年度の「学級経営の基本方針」と「ご家庭への協力依頼」が示されました。子どもたちの活躍をしっかりと支えるために各担任と



(中1専科制初の懇談会)

「第二の教室」であるご家庭とが連絡を蜜にし、協力し合うことを重ねてお願いいたします。